

町家de 春の京大トーク

歴史に住まう，世界に住まう

—平安京—京都の都市史と住まいから，
持続的な都市の在り方を考える

「京都とは何か？」言うまでもなくこれは，長く日本歴史学の問いでしたが，近代化・都市化が極限にまで拡大した今日，1200年の歴史的価値を保持しつつ，いまだ変化し続ける京都の町を考えることは，日本のみならず，世界の都市文明を見直すヒントを与えてくれます。

「貴族の都市」ではなく実際にそこに生きる人々に焦点を当てた平安京論を展開する歴史学者，現代京都を拠点として建築設計を实践する気鋭の建築家，そしてアジア全域の都市史・建築史研究をリードするかたわら，実践的なまちづくりを指導する都市史学者が，「今，京都に生きる」ということを【1200余年の歴史と未来への時間軸】と【アジア大の空間軸】の中に位置付けて皆さんと一緒に討論します。

演題

冒頭挨拶 山極寿一（京都大学総長）

京都の<町>の始まりと移り変わり

—西暦1000年前後の平安京を中心に—

西山良平（京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

京都の“いま”に住まう

高取愛子（京都大学大学院工学研究科工学教育推進センター講師）

討論：歴史に住まう，世界に住まう

コーディネーター

布野修司（滋賀県立大学副学長・前日本建築学会副会長）

日時：2015年3月20日（金）18時30分～20時30分（開場18時）

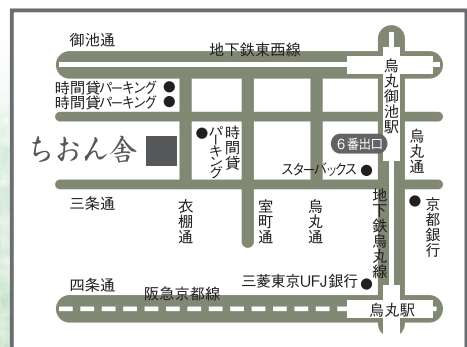
会場：ちおん舎 京都市中京区衣棚三条上る突抜町 126

<http://www.chionsha.com/>

対象：70名（入場無料、申込先着順、申込方法は裏面に記載）

主催：京都大学，京都大学学術出版会

後援：読売新聞社・読売教育ネットワーク，京都府，京都市



日本のフィールド科学の祖とされる今西錦司博士が『生物の世界』を著して、すべての生物に社会があると宣言したのは、1941年、39歳のことでした。当時、ヒトとヒト以外を同列に扱うことは欧米の学界から強い批判を浴びました。しかし人文科学と自然科学との垣根を取り払い、人間中心の世界観を覆した日本の学術は、今や、様々な分野で世界をリードしています。地球規模、あるいは生命史・人類史の長さを見据えて解決すべき問題に私たちが直面する今日、若き日の今西錦司が挑戦したように、今、京都大学の研究者は、未来を拓くための様々な研究に勤しんでいます。週末の一時、こうした研究者を囲んで、歴史と未来を大いに話ってみませんか。



西山 良平 ◆にしやま りょうへい

京都大学大学院人間・環境学研究科教授

大阪府で生まれる。日本の奈良・平安時代の社会史・文化史専攻。1979年、京都大学大学院文学研究科博士課程（国史学専攻）単位取得退学。京都大学文学部助手、京都市立芸術大学美術学部専任講師などを経て、現在に至る。

1980年代、律令制国家の農村支配と平安時代の地域社会の変容過程を検討し注目される。最近では、平安京の都市構造や奈良・平安時代の王権の問題、さらに穢れや祟りの実態に関心を広げている。

主な著書に、『都市平安京』（京都大学学術出版会、2004年）、『平安京の住まい』（共編著、京都大学学術出版会、2007年）、『恒久の都 平安京』（共編著、吉川弘文館、2010年）など。



高取 愛子 ◆たかとり あいこ

京都大学工学研究科附属グローバルリーダーシップ大学院工学教育推進センター講師。岡山県生まれ。1998年京都府立大学住居学科卒業後、Berlage Institute Amsterdam、京都大学大学院工学研究科助手、助教を経て2012年より現職。社会的要請に即応すると同時に、新しい建築の実現における意匠の可能性とその思考を探索し、建築設計の実践的試みを京都を拠点として展開。プリヤデザイン一級建築士事務所のアドバイザーとして、岡本一真とともに、中部建築賞（2009年）、住まいのリフォームコンクール優秀賞（2009年、2012年）、同理事長賞（2010年）、京都デザイン賞（2011年）などを受賞している。



布野 修司 ◆ふの しゅうじ

滋賀県立大学副学長・理事

1949年、松江市生まれ。建築計画学、地域生活空間計画学専攻。東京大学工学研究科博士課程中途退学。東京大学助手、東洋大学講師・助教授、京都大学工学研究科助教授、滋賀県立大学環境科学部教授を経て現職。

主な著書は、『インドネシアにおける居住環境の変容とその整備手法に関する研究』で日本建築学会賞受賞（1991年）、『近代世界システムと植民都市』（編著、京都大学学術出版会、2005年）で日本都市計画学会賞論文賞受賞（2006年）、『韓国近代都市景観の形成』（京都大学学術出版会、2010年、韓三建・朴重信・趙聖民との共著）で日本建築学会著作賞受賞（2013年）。

申し込み方法

事前申し込みが必要です。電話、メール、はがきまたはFAXで京都大学学術出版会 シンポジウム掛 までお申し込みください。その際、

・講演会参加希望

・氏名・年齢・職業・住所、郵便番号・電話番号・メールアドレス

をお知らせください。定員に達し次第受付終了とさせていただきます。

〒606-8315

京都市左京区吉田近衛町 69番地 京都大学吉田南構内
京都大学学術出版会 シンポジウム掛

TEL: 075-761-6182

FAX: 075-761-6190

Email: sympo@kyoto-up.or.jp